



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8096 URL <https://www.kel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 渡辺 亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岡崎 恭弘

TEL 03-5250-6823

四半期報告書提出予定日 2022年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	47,447	9.2	7,516	21.0	7,579	19.4	5,141	20.1
2021年3月期第3四半期	43,438	10.3	6,213	7.8	6,350	6.3	4,280	5.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 5,674百万円 (31.9%) 2021年3月期第3四半期 4,303百万円 (5.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	179.72	
2021年3月期第3四半期	149.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	73,080	57,969	79.3
2021年3月期	75,164	56,415	75.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 57,925百万円 2021年3月期 56,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		65.00		70.00	135.00
2022年3月期		75.00			
2022年3月期(予想)				70.00	145.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	5.3	12,250	12.7	12,300	11.4	8,300	12.4	290.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	28,633,952 株	2021年3月期	28,633,952 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	20,906 株	2021年3月期	28,039 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	28,610,192 株	2021年3月期3Q	28,602,804 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、国内におけるワクチン接種の促進や各種政策の効果もあり一部持ち直しの動きが続いている一方で、感染力の強い新たな変異株の発生による感染症の再拡大や世界的な半導体不足などの懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内IT業界におきましては、半導体不足の影響により不透明感が増す一方で、コロナ禍におけるニューノーマルの定着に伴い、ライフスタイルやワークスタイルの変化により企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）は一層加速し、リモートワークの拡大により高度化・多様化したサイバー攻撃の急増に伴うセキュリティ対策需要に加え、人手不足を背景に業務効率化や自動化を目的とした戦略的なIT投資は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスの展開に加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」「ネットワーク」などのソリューションビジネスおよびお客様のリモートワーク環境の整備などに注力してまいりました。

具体的には、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の一環として堅調な仮想デスクトップ（VDI）環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K（スリーケー）※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図りました。また、当社の中長期的な企業成長に向け、顧客基盤や事業領域の拡大・深耕を図ることを目的に、2021年5月にキーウェアソリューションズ株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、474億4千7百万円、前年同期比40億9百万円（前年同期比9.2%増）の増収となりました。営業利益は、75億1千6百万円となり、前年同期比13億3百万円（前年同期比21.0%増）の増益、経常利益は、75億7千9百万円となり、前年同期比12億2千8百万円（前年同期比19.4%増）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、51億4千1百万円となり、前年同期比8億6千1百万円（前年同期比20.1%増）の増益となりました。

※1 3K（スリーケー）：「KEL Briefing Center（KBC）」、「KEL Custom Cloud（KCC）」、「KEL Managed Service（KMS）」から成るサービスビジネス群

セグメントの状況

（システム事業）

システム事業の売上高は、327億1百万円となり、ストレージ関連事業やネットワークセキュリティ関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比32億4千5百万円（前年同期比11.0%増）の増収となりました。

（サービス・サポート事業）

サービス・サポート事業の売上高は、147億4千6百万円となり、システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比7億6千3百万円（前年同期比5.5%増）の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し、664億1千1百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が60億8千9百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.9%増加し、66億6千9百万円となりました。これは、投資有価証券が13億2千5百万円増加したことなどによります。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて22.4%減少し、126億4千4百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が22億5千8百万円減少したことなどによります。

固定負債は、概ね前連結会計年度末並みの24億6千7百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、579億6千9百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益51億4千1百万円の計上および配当金41億4千8百万円の支払いにより、利益剰余金が9億9千3百万円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.0%から79.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月29日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,877,658	47,689,127
受取手形及び売掛金	16,218,110	10,128,241
リース投資資産	9,251	5,286
棚卸資産	1,997,085	4,312,349
その他	3,878,972	4,276,577
流動資産合計	68,981,078	66,411,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,098,688	1,034,371
その他（純額）	962,834	834,364
有形固定資産合計	2,061,523	1,868,736
無形固定資産		
その他	843,991	805,241
無形固定資産合計	843,991	805,241
投資その他の資産		
投資有価証券	913,538	2,239,275
繰延税金資産	1,342,731	776,558
その他	1,029,677	987,199
貸倒引当金	△7,644	△7,644
投資その他の資産合計	3,278,303	3,995,390
固定資産合計	6,183,817	6,669,367
資産合計	75,164,896	73,080,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,732,807	5,474,683
未払法人税等	1,829,831	367,405
前受収益	3,224,808	—
契約負債	—	3,650,168
賞与引当金	1,125,714	483,941
役員賞与引当金	142,700	97,751
その他	2,247,526	2,570,473
流動負債合計	16,303,388	12,644,423
固定負債		
退職給付に係る負債	1,837,932	1,880,881
資産除去債務	589,330	568,483
その他	18,867	17,869
固定負債合計	2,446,130	2,467,233
負債合計	18,749,518	15,111,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	7,138,453	7,159,524
利益剰余金	39,802,387	40,795,831
自己株式	△26,170	△19,883
株主資本合計	55,945,928	56,966,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,455	808,931
繰延ヘッジ損益	△15	△402
為替換算調整勘定	79,125	86,800
退職給付に係る調整累計額	115,552	63,295
その他の包括利益累計額合計	415,116	958,625
非支配株主持分	54,332	43,936
純資産合計	56,415,378	57,969,293
負債純資産合計	75,164,896	73,080,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	43,438,211	47,447,788
売上原価	30,583,536	33,122,646
売上総利益	12,854,674	14,325,141
販売費及び一般管理費	6,641,611	6,808,506
営業利益	6,213,063	7,516,634
営業外収益		
受取利息	4,056	3,680
受取配当金	14,729	18,874
受取保険金	100,000	—
助成金収入	12,852	19,618
受取立退料	—	15,649
雑収入	7,185	6,679
営業外収益合計	138,823	64,502
営業外費用		
支払利息	47	0
雑支出	907	1,285
営業外費用合計	955	1,285
経常利益	6,350,931	7,579,851
特別利益		
固定資産売却益	—	1,571
ゴルフ会員権売却益	2,170	4,417
特別利益合計	2,170	5,989
特別損失		
固定資産除却損	330	2,985
投資有価証券売却損	450	1,113
特別損失合計	781	4,099
税金等調整前四半期純利益	6,352,320	7,581,741
法人税、住民税及び事業税	1,598,297	2,118,950
法人税等調整額	477,664	329,629
法人税等合計	2,075,962	2,448,579
四半期純利益	4,276,358	5,133,161
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,299	△8,675
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,280,658	5,141,836

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	4,276,358	5,133,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,722	588,476
繰延ヘッジ損益	213	△386
為替換算調整勘定	2,093	5,955
退職給付に係る調整額	△18,395	△52,256
その他の包括利益合計	27,635	541,788
四半期包括利益	4,303,993	5,674,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,306,824	5,685,345
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,831	△10,395

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受収益」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	29,455,683	13,982,528	43,438,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81,462	251,409	332,872
計	29,537,145	14,233,937	43,771,083
セグメント利益	3,633,187	2,551,812	6,184,999

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	6,184,999
セグメント間取引消去	28,063
四半期連結損益計算書の営業利益	6,213,063

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	32,701,582	14,746,205	47,447,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	93,509	239,823	333,333
計	32,795,092	14,986,028	47,781,121
セグメント利益	4,626,273	2,795,972	7,422,246

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	7,422,246
セグメント間取引消去	94,388
四半期連結損益計算書の営業利益	7,516,634

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

2022年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト (日本基準)

■売上高、営業利益、経常利益ともに増収増益。

		(%表示は対前年同四半期増減率)
◇売上高	47,447 百万円	9.2 %
◇営業利益	7,516 百万円	21.0 %
◇経常利益	7,579 百万円	19.4 %
◇親会社株主に帰属する四半期純利益	5,141 百万円	20.1 %

資産・負債及び純資産の状況

(単位：百万円)	2021/12末	2021/3末	前期末比	増減率(%)
総資産	73,080	75,164	△ 2,083	△ 2.8
流動資産	66,411	68,981	△ 2,569	△ 3.7
固定資産	6,669	6,183	485	7.9
負債	15,111	18,749	△ 3,637	△ 19.4
流動負債	12,644	16,303	△ 3,658	△ 22.4
固定負債	2,467	2,446	21	0.9
純資産	57,969	56,415	1,553	2.8
自己資本 (注1)	57,925	56,361	1,564	2.8
自己資本比率 (注2)	79.3%	75.0%	4.3pt改善	-

■資産
流動資産は、受取手形及び売掛金が60億8千9百万円減少したことなどにより、前期末比25億6千9百万円（前期末比 3.7%減）の減少。
固定資産は、投資有価証券が13億2千5百万円増加したことなどにより、前期末比4億8千5百万円（前期末比 7.9%増）の増加。

■負債
流動負債は、支払手形及び買掛金が22億5千8百万円減少したことなどにより、前期末比36億5千8百万円（前期末比 22.4%減）の減少。
固定負債は、概ね前期末並み（前期末比0.9%増）。

■純資産
純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益51億4千1百万円の計上による増加と、配当金41億4千8百万円の支払いによる減少などがあり、前期末比15億5千3百万円（前期末比 2.8%増）の増加。
なお、自己資本比率は79.3%となり、前期末比4.3ptの改善。

損益の状況

(単位：百万円)	2022/3期 第3四半期	2021/3期 第3四半期	前年同期比	増減率(%)	2022/3期 通期	
					業績予想	進捗率(%)
売上高	47,447	43,438	4,009	9.2	69,000	68.8
売上総利益	14,325	12,854	1,470	11.4	-	-
販売費及び一般管理費	△ 6,808	△ 6,641	△ 166	2.5	-	-
営業利益	7,516	6,213	1,303	21.0	12,250	61.4
営業外収益	64	138	△ 74	△ 53.5	-	-
営業外費用	△ 1	△ 0	△ 0	34.5	-	-
経常利益	7,579	6,350	1,228	19.4	12,300	61.6
特別利益	5	2	3	175.9	-	-
特別損失	△ 4	△ 0	△ 3	424.6	-	-
税金等調整前四半期純利益	7,581	6,352	1,229	19.4	-	-
法人税等	△ 2,448	△ 2,075	△ 372	17.9	-	-
四半期純利益	5,133	4,276	856	20.0	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,141	4,280	861	20.1	8,300	61.9

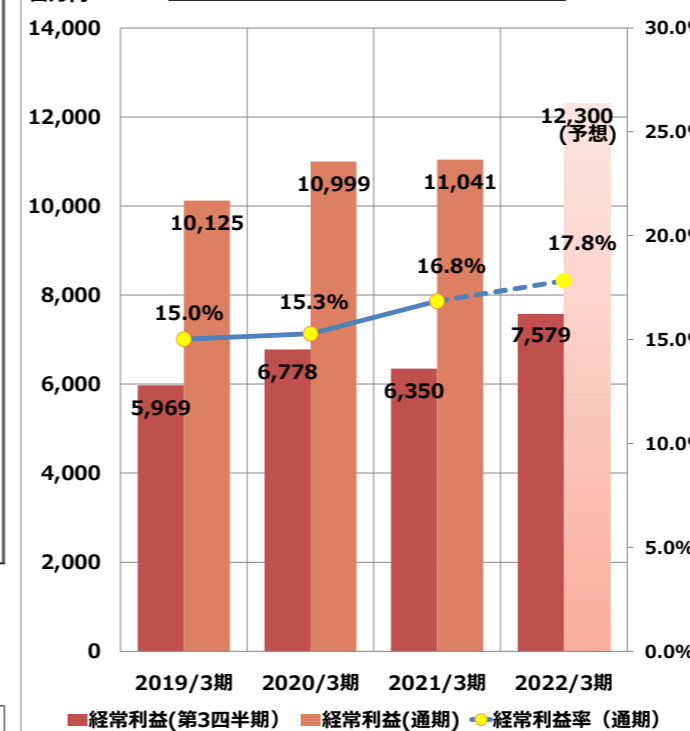
■売上高
売上高は、474億4千7百万円となり、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の環境として堅調な仮想デスクトップ（VDI）環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K（スリーケー）※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図ったことで、前年同期比40億9百万円（前年同期比 9.2%増）の増収。

■利益
営業利益は、75億1千6百万円となり、前年同期比13億3百万円（前年同期比 21.0%増）の増益。経常利益は、75億7千9百万円となり、前年同期比12億2千8百万円（前年同期比 19.4%増）の増益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、51億4千1百万円となり、前年同期比8億6千1百万円（前年同期比 20.1%増）の増益。

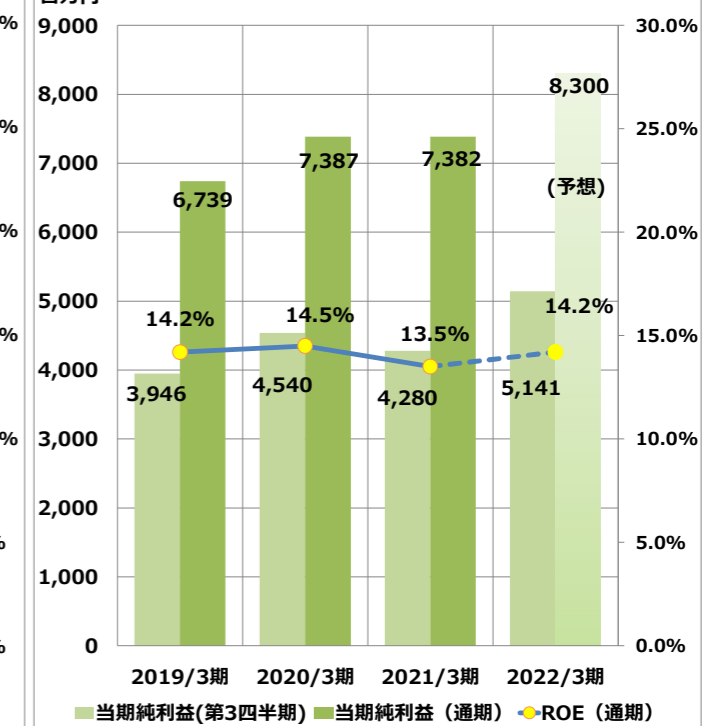
※1 3K（スリーケー）：「KEL Briefing Center（KBC）」、「KEL Custom Cloud（KCC）」、「KEL Managed Service（KMS）」から成るサービスビジネス群

(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産

経常利益、経常利益率の推移



当期純利益、ROE推移



1株当たり四半期純利益 (円)	179.72	149.66	30.06	20.1
-----------------	--------	--------	-------	------

セグメント情報

(単位：百万円)	売上高			セグメント利益		
	2022/3期 第3四半期	2021/3期 第3四半期	前年同期比	2022/3期 第3四半期	2021/3期 第3四半期	前年同期比
システム事業	32,795	29,537	3,257	4,626	3,633	993
サービス・サポート事業	14,986	14,233	752	2,795	2,551	244
計	47,781	43,771	4,010	7,422	6,184	1,237
その他 (含む調整額)	△ 333	△ 332	0	94	28	66
合計	47,447	43,438	4,009	7,516	6,213	1,303

■システム事業
ストレージ関連事業やネットワークセキュリティ関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比32億5千7百万円の増収。

■サービス・サポート事業
システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比7億5千2百万円の増収。

配当の状況

	2022/3期	2021/3期	2020/3期	2019/3期
中間配当	75円	65円	65円	55円
期末配当	70円 (予想)	70円	70円	70円
年間配当	145円 (予想)	135円	135円	125円
自己資本 (百万円)	-	56,361	52,863	49,369
配当性向 (%)	50.0 (予想)	52.3	52.3	53.0

*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。